

学習指導過程は、再度授業構想シートで授業者の指導観を明確にするためのねらいの検討に時間をかけた。赤堀調査官よりご指導頂いた発問構成の考え方から、生徒に「何を考えさせるのか」の教材吟味に立ち戻り、答えが○か×で答えられるような「閉じられた発問」になっていないか等、模擬授業で問題点を具体的に把握し課題を修正した。公開授業後は、導入から振り返りまで、ねらいとする道徳的価値が貫かれているかなど、参観する視点を明確にし、より質の高い授業につながるよう指導案を修正した。

【加除修正した内容】

先達への尊敬と感謝の気持ちを育み、郷土を愛する心情を育む。

【加除修正した内容】

(留意点) 郷土大仁への思いを想起させ、ねらいとする道徳的価値を方向付ける発問

学習指導案	備考
<p>4 本時の指導</p> <p>(1) 本時のねらい</p> <p>大仁の偉人、穂積忠が歌人としての才能を兼ね備えながら、東京に進出することなく生涯大仁で過ごした人生を通して、先達への尊敬と感謝の気持ちを育み、郷土を愛する心情を育てる。</p> <p>(2) 指導過程</p> <p>○自分にとって大仁とはどういう場所ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が生まれ育った場所 ・自然が多く好きな場所 ・自分が一番好きな場所 ・将来もずっと住みたいところ ・多くの友達がいる場所 ・多くを学んで成長した場所 <p>*郷土大仁への思いを想起させねらいとする道徳的価値を方向付ける発問。</p> <p>○大仁出身の有名人を知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いないと思うな。 ・いると思うけど知らない。 ・穂積隆信っていう人を聞いたことがある。 <p>☆穂積隆信が大仁出身の俳優・声優として現在も活躍しており、その父、穂積忠が大仁出身の歌人であり、廣瀬公園の歌碑が残されていることに触れ、資料を読み聞かせる。</p> <p>☆歌人穂積忠の本とG T櫻井洋行氏(歌人穂積忠の筆者・本校卒業生)を紹介し、直接資料の説明を受けることで、より深く先達の郷土愛について考えることができる。</p> <p>○穂積忠は東京と大仁どちらに住んだ方が幸せになれたかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忠の才能を生かした自己実現と故郷への思いを対比し、人間理解から価値理解へとつなげるための発問 <p>東京</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌人として世に知られる有名人になれた。 ・毎週東京に行くのが大変だから。 ・師匠の言葉通りに進めば出世できたと思う。 ・自分の才能を伸ばすことができたから。 ・自分のやりたいことをやった方が幸せ。 <p>大仁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両親の近くで親孝行できたから。 ・伊豆の自然を心から愛していたから。 ・高校の校歌を多く残すことができたから。 ・天城山のわさび沢が魂の故郷であったから。 ・東京にはいつでも行けると思っていたから <p>○ 大仁を離れたら寂しくならないのかな。</p> <p>○ 東京の方が才能を発揮できたのではないかな。</p>	<p>備考</p> <p>→ ねらい：内容+道徳性の様相 本時は道徳的心情をねらいとしている。</p> <p>→ ねらいとする道徳的価値への方向付け</p> <p>→ この発問は何を目的としているのか。 (閉じられた発問)</p> <p>→ 発問の吟味が必要</p> <p>人間理解：先人の努力を知り、郷土を愛することは簡単なことではない。なかなか難しい。 価値理解：先人の努力を知り、郷土を愛することはとてもよいことだ。</p>

【加除修正した内容】
この発問は削除し、ICTを活用して穂積隆信の活躍を紹介する。

【加除修正した内容】
「師匠から東京から引越してくるよう何度も言われた忠はどんなことを考え悩んだかな。(価値理解)
意図としては忠の「東京へ行きたい」「大仁に残りたい」という悩みをより具体的にする。

